

霧ヶ丘幼稚園 公開保育を活用しての学校関係者評価

- * 学校関係者：◎近隣の小学校の校長教頭一般教諭、保育所連盟園長、幼児教育推進委員（教育委員会）、教育委員会指導主事、こども家庭局など20名、
◎私立幼稚園の園長主任68名（ECEQ公開保育・福私幼主任研修会）
- * 日程：平成30年12月8日（土） 会場：霧ヶ丘幼稚園
- * 公開保育：全保育室午前10時から12時公開
- * 講演会：学校関係者20名 京都光明幼稚園の田中雅道氏の講演 11時から12時「幼児教育理解推進の重要性」終了後学校関係者のアンケートをとる
- * アンケートの結果「子どもはよく遊んでいたか？」など簡単な設問の後、下は自由記述の感想抜粋
 - ・ どの子ども自分の思いや願いをもって主体的に活動し、環境も意図的につくられていて感心した。
 - ・ とても楽しそうで子ども達が積極的に遊んでいて素晴らしいが、小学校にはいきたくないと言われそう。小学校も幼稚園も歩み寄り段差を小さくしていく必要があると思いました。
 - ・ 幼児教育を学ぶ実り多い時間が持て、幼児教育の素晴らしさをもっと発信していけたらと思った。
 - ・ 子ども一人一人への支援が十分にされていた。
 - ・ 手作りの教材などたくさん準備されていた。幼稚園の先生は大変だなと思いました。
 - ・ 幼稚園の中で、子ども達がしっかり育てられているのを感じました。
- * 協議：ECEQコーディネーターの進行による
私立幼稚園の園長主任68名と霧ヶ丘幼稚園の教職員16名 13時から16時
クラス別に分かれて協議「霧幼の良いところと課題を協議していく」
- * 協議結果：「公開保育後のカンファレンスにおける外部から見た良さや課題」
教師の指示は必要最小限で禁止や否定の声掛けも聞かれない中、子ども達が落ち着いて遊んでいる様子に、参加者からは良かった点や勉強になったという声がたくさん聞かれた。課題となる点の指摘やアドバイスなどよりも、賞賛や参考にしたい内容への質問が多いカンファレンスとなった。参加者が自由保育の醍醐味を味わい、子どもが主体的に遊ぶために必要な環境構成や保育者の関わりなど多くのことを学んでいる姿から、公開園の保育者は自園の良さを改めて感じることができ、自分たちが普段当たり前に行っている保育実践の大切さや意義について再認識できる機会になったのではないかと思う。
公開保育中は課題となる点や疑問に感じる場面はなかったが、全体的に落ち着いて遊んでいる雰囲気がある一方で、他の遊びへの興味や他児から受ける刺激など、意外な展開や新たな気づきを誘発するような変化のある場面は見ることができなかつたところが課題と考える。

<公開保育>



<公開保育>



<参加者の協議会>

